

○令和4年度 教育事業 「かみふっ子フレンドキャンプ」(R4.2月11日(土)~12日(日))

令和4年度 国立大雪青少年交流の家教育事業小・中接続事業

かみふっ子 フレンドキャンプ

~ 来年のクラスメイトと仲良くなろう! ~

同じ中学校に進学する町内小学校の6年生を対象に、仲間と楽しく協働し、新たな関係を築くきっかけを目的とした交流事業です。

日 時	令和5年2月11日(土)~12日(日)【1泊2日】
場 所	国立大雪青少年交流の家
対 象	上富良野町内小学校の6年生
内 容	スポーツ交流・ダンス・クラフト制作
参 加 料	2,500円(食事、シーツ代、保険料等)
申込み期限	1月20日(金)~2月3日(金) ※詳細は裏面をご確認ください

他の学校の子はどんな感じなのかと思っていたけど、話してみたら楽しかった！
中学校でも話してみたい！！

東中小学校から心配でしたが他の子と仲良くできたみたいで良かったです！（保護者）

前回参加者の声

保育園や幼稚園で同じだった人がいたからよかった！
中学校で友達作れるか不安だったけど安心！！

中学校に入る前に他校の子どもたちとつながれてよかった！！
(保護者)

たくさんの参加者をお待ちしています！！

◆目的

上富良野町内の小学校に通う6年生が、体験活動を通して交流を深めながら、中学校進学への準備や目標を立てるなど、進学に対する期待を高める機会とする。

◆参加実績（定員なし）

参加者 35名

- ・上富良野小学校 22名(男子14人、女子8人)
- ・上富良野西小学校 13名(男子7人、女子6人)

◆プログラム

【1日目】

①アイスブレイク・スポーツ交流（180分）

参加者がお互いを知るために、自己紹介シート作成して自己紹介を行った。その後、協力して課題を解決する活動を通して互いに交流した。スポーツ交流ではチームで作戦を考えて実践する中で他校の児童と仲を深めた。



②キャンプファイヤー（60分）

雪上でのキャンプファイヤーをでは、同じ中学校に進学する仲間と一緒に歌ったり踊ったりする活動を通して、仲間としての一体感を高めた。活動の最後に星空観察を行った。



③自由時間（120分）

1日を通して仲を深めた友達と、さらに仲を深めるために自由時間を設定した。部屋で話をしたり、一緒に入浴したり、スポーツをしたりすることで、参加者同士の仲を深めた。



【2日目】

③ダンス・ダンス・ダンス（90分）

講師からダンスのステップを学び、それを活用し、グループごとに曲に合わせてダンスの振り付けを考えた。グループで話し合って振り付けを決め、練習後に全体の前で発表した。



④クラフト作成「円形木琴を作ろう」(90分)

参加者同士で交流しながら円形木琴を制作した。自分の作品の一部となる板に好きな色や模様を描いたり、参加者同士でメッセージを書き合ったりした。



⑤ふり返り(75分)

2日間を振り返りながら、事業の感想と中学校の目標を記入した。サイン帳を活用して、参加者同士でメッセージを書き合うための交流の時間を設けた。



◆事業運営・企画のポイント

- 参加者同士が交流できるように、余裕のある時間設定を行い、自由時間に参加者同士が交流できるようにした。
- 参加者同士が協力して活動できるように、話し合っ実践するような活動を多く取り入れた。また、運動が苦手な参加者もいるため、運動が不得意な参加者でも仲間と協力できるようなプログラムにした。
- 各プログラムで必ず参加者同士が交流できるようにした。また、自由時間を設け、参加者同士が主体的に交流できるようにした。
- 参加者同士の交流・同じ中学校へ進学する仲間としての一体感を醸成するために、雪に親しみながら活動できるキャンプファイヤーを行った。

◆参加者の声(事業趣旨と照らし合わせ、ねらいと対応するものを記載する)

- 知っている人や優しい人が多くて、いろいろな人とたくさん話せたし、仲良くなれた。このおかげで中学校でも楽しくやっていけそうだ。西小の人と仲良くなれるか不安だったけど、女子も男子もみんないい人で、中学校に行く前から絆を深められた。正直、去年の宿泊研修よりも楽しくていい思い出になった。
- 他校の人たちと仲良くできるか心配だったし、名前を覚えたり、覚えてもらったりしてもらえるか不安だったけど、スポーツ交流の作戦会議の時やダンスの振り付けを考えるとときに名前を呼んでくれてうれしかった。
- これだけみんなと仲を深められたら、中学でもそんなに問題ないと思った。
他の参加者たちと仲良くなれたし、元々仲の良かった人とも仲良くなれたのでうれしかったです。

◆事業の成果

- ①他校の参加者との交流を中心としたプログラム中心に構成したため、中1ギャップの予防につなげることができた。
- ②職員・ボランティアが楽しむ姿を見せることで、参加者は不安を感じず、楽しみながら2日間を過ごすことができた。
- ③円形木琴づくりやサイン帳による交流を取り入れることで、参加者同士の思い出に残る活動にすることができた。